

電気は人なり

第7回企画展

電気事業に生命を賭けた男たち



電気の史料館

www.tepco.co.jp/shiryokan/index-j.html

エジソンが電気事業を開始したのが1882年。その後、欧米ではニコラ・テスラなどによって電力システムが構築されていく。一方、日本の電気事業も欧米に遅れることなく民営主導により電気の供給が始まった。苦難の道を経て現在のシステムを確立していくが、そこには、事業に生命を賭けた多くの電力人たちのドラマがあった。

テスラから始まる長距離送電への道



テスラとエジソンの激しい交直論争。ツィベルノフスキーの変圧器とドブロウオフスキーの三相交流システム。

黎明期に活躍した若き技術者たち



東京電燈設立に奔走した藤岡市助。交流システムを導入した岩垂邦彦。蹴上水力発電所建設に尽力した田邊朔郎。

無秩序な市場競争による消耗戦



大規模水力発電と長距離送電。卸売と小売会社の乱立。無秩序な市場競争による消耗戦。五大電力による電力戦。

電力国営論と戦った電力人たち



電力王と呼ばれた二人の電力統制論。高まる電力国営の気運。必死に抵抗する電力界。電力国家管理法の成立へ。

電力再編成に生命を賭けた電力の鬼



GHQが要求した電力再編成。電力の鬼松永安左工門の登場。混乱の国会審議。ポツダム政令から9電力会社発足へ。

2007年2月27日～11月4日

月曜休館(祝日の場合は翌日)

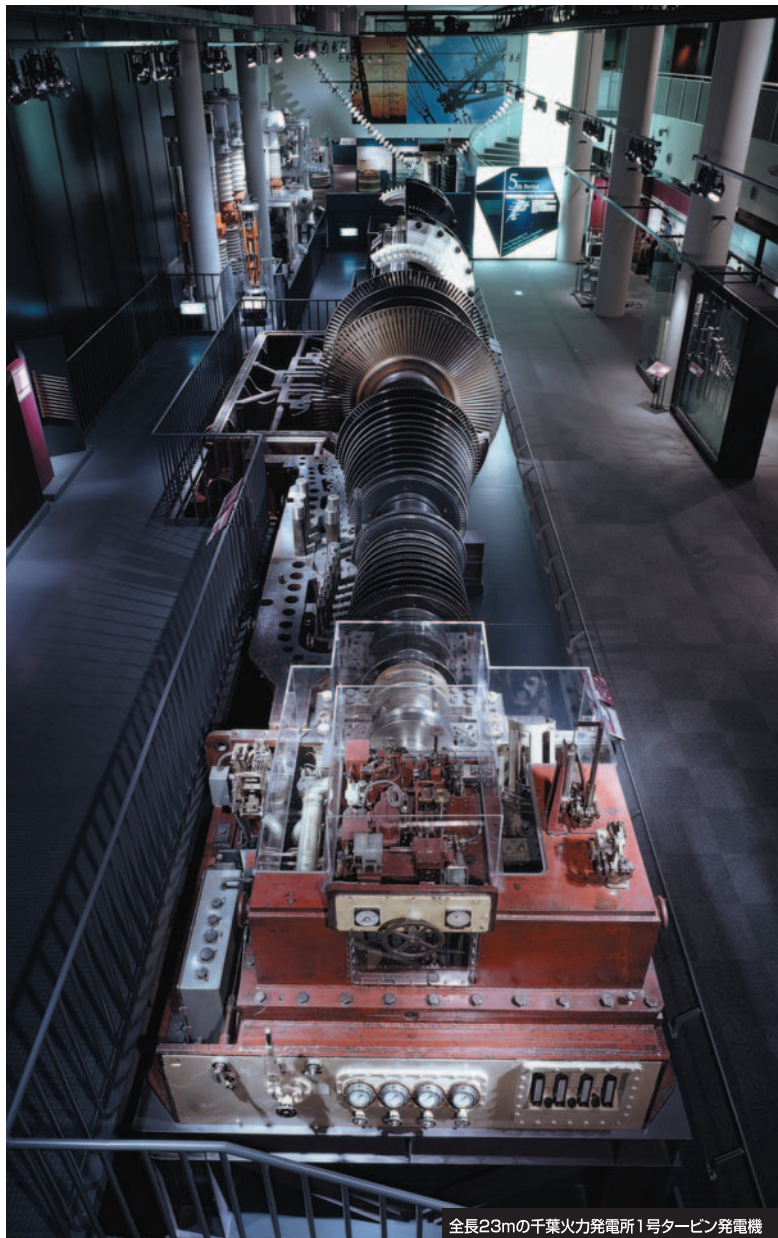


東京電力

TEPCO

見て触って聞いて 電気120年の歴史を 体感しよう

電気の史料館は、「明治時代より引き継がれてきた電気作りの精神を現代に伝え、次の時代に語り継いでいく」ことを目的に東京電力が2001年に設立しました。約700点の歴史的意義の有る実物や実機を中心に展示を行っています。その迫力を通して『もの作り』の重要性、先人の努力とチャレンジ精神を感じていただき、さらには皆様とともに未来の電気の可能性を考えて行きたいと思っています。



全長23mの千葉火力発電所1号タービン発電機



明治・大正期の大型水車発電機



1907年米国製の電気自動車



バンザイ鉄塔



エジソン蓄音機など

電気の史料館へのアクセス

■ 無料シャトルバス ※定員を超えた場合は公共の交通機関をご利用下さい

- 出発場所：JR川崎駅西口 東西連絡通路下の一般車乗降場
- 出発時間：9:50 10:50 11:50 13:10 14:10 15:10 16:10
- 乗車時間：10～15分程度

■ 路線バス（臨港バス・臨港グリーンバス）

- JR川崎駅西口より乗車時間 15分程度
- 58番乗り場より川54系統乗車→「江ヶ崎八幡」下車→徒歩5分
- 59番乗り場より川53・57系統乗車→「電気の史料館入口」下車→徒歩5分
- 60番乗り場より川51系統乗車→「電気の史料館入口」下車→徒歩5分

■ タクシー

- JR川崎駅より約10分
- JR新川崎駅より約5分

■ 徒歩

- JR尻手駅より約20分

■ 自動車

- 第二京浜国道（国道1号線）「尻手」交差点より西へ約1.5km

入館料

大人・・・300円

大学生・・・200円

高校生～小学生・・・100円

※団体割引：10名様以上で100円引き

